



梅の芽だより

牧之原市立地頭方小学校 <http://jitogatashou.makihagu.net>

校長先生の初恋物語

第1話 新学期

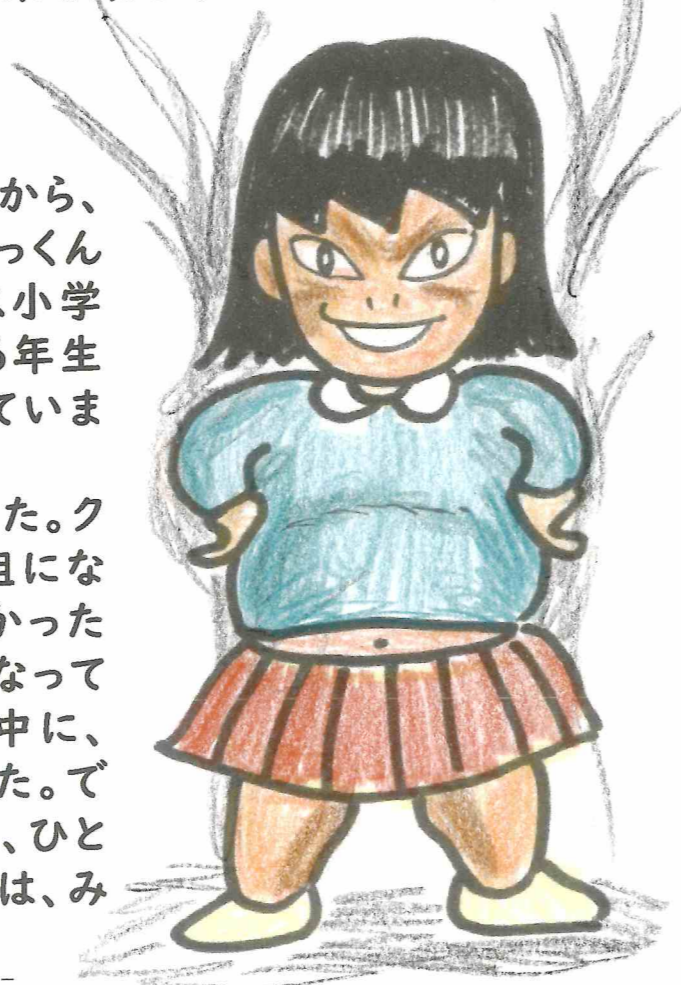


6月は、みなさんも、つかれぎみ。「学校に行きたくないなあ。」という声もちらほら聞こえてきます。校長先生は、そんな声があがっていることが心配でなりません。校長先生として、何かできないかなあと思いました。そこでやってみようと思ったのが、これです。「校長先生の初恋物語」、これは、校長先生が小学5年生の

頃の本当のお話です。このお話を、6月は、一枚ずつ出しますから、この一枚を読むことも、学校に来る楽しみの1つにしてください。それでは、校長先生の初恋物語、はじまり、はじまりー。

校長先生は小学生の時、みんなから、「とっくん」と呼ばれていました。とっくんのかよっていた小学校は、マンモス小学校(相良小学校)です。1年生から6年生まで合わせると、1000人を超えていました。昔は子供も多かったんです。

4月、とっくんは5年生になりました。クラス替えがあり、とっくんは5年2組になりました。4年生の時まで仲がよかった友達とは残念ながら別のクラスになってしまい、新しい5年2組のクラスの中に、仲のいい子が1人もいませんでした。ですから、とっくんは4月の最初の日、ひとりぼっちでした。教室のあちこちでは、み



んな楽しそうにしています。話せる友達が見つからないとっくんは、教室のすみっこで、楽しそうなみんなを見ていました。

「みんな楽しそうでいいなあ。ぼくにも仲よしができるのかなあ。」

不安な気持ちでいっぱいになっていました。

教室の中で、一番大きな声でしゃべっているのは、ダンプさんでした。ダンプさんは、女の子です。ダンプカーのような力持ちで、マンモス小学校では有名人です。身長は6年生の誰よりも大きかったです。大きさだけではありません。ダンプさんは、けんかも強くて、男の子たちはみんな、ダンプさんをおそれていました。そのダンプさんが、教室でこんなことを大きな声で言ってました。

「ちょっとー。5年2組の男の子たちって、みんな、なよなよして弱虫ばかりね。今年も、男の子をいじめちゃおうかなあー。」

とっくんは、ダンプさんのその言葉に、おそろしくてふるえあがってしまいました。他の男の子もそれまで大さわぎしていたのに、ダンプさんのその一言で、みんなだまりこんでしまいました。

仲のいい友達が見つからないし、おそろしいダンプさんと同じクラス。もう、5年2組は最悪のクラスです。ダンプさんは、ちょうしにのって、さらにこんなことを言いました。

「5年2組の男の子達って、みんなかっこわるいよね。かっこいい男の子、ぜんぜんいないじゃなーい。がっかりだよねー。」

その時です。教室に入るドアがいきおいよくあいて、1人の少年が登場しました。その少年は、きらきらしていました。やってきたのは、足長君です。とにかくかっこよくて長い足。とっくんとは大違いです。足長君が教室の中に入ってくると、あっという間にファンの女の子たちにかこまれて、ちやほやされていました。大変な人気者です。

一方、とっくんのところは、だれも来ません。と思ったら……。なんと、1人だけいたんです。友達ができなくてさみしそうにしている、とっくんのところに来てくれた、すてきな女の子。その女の子というのが。

つづく 次回予告 愛の始まり

とっくんのところに来てくれた素敵な女の子とはだれなのか。とっくんはその子のことが好きになるのか。なみだなみだの初恋のお話、明日をお楽しみに。

